

● 内子町の国際交流

～世界と内子をつなぐ CIR と ALT ～

—— 愛媛県内子町教育委員会 公益財団法人内子町国際交流協会

はじめに (内子町の紹介)

内子町は愛媛県南予地方に所在する人口約 14,000 人の町です。四国で初めて重要伝統的建造物群保存地区に選定された八日市・護国地区の美しい町並みが魅力の一つで、国内外から観光客が訪れます。

町の国際交流の歴史は 1986 年にさかのぼります。町並み保存運動を進めていた内子町が、世界的な街並み保存の先進地であるドイツ・ローテンブルク市より当時の市長を招き「町並み保存とまちづくり」をテーマにシンポジウムを開いたことをきっかけに、国際交流の機運が高まり、町民レベルでの国際交流を進める母体として「(財)内子町国際交流協会」が設立されました。財団としての国際交流協会の設立は、愛媛県、松山市に次ぎ県内で 3 番目、町としては県内初めてのことでした。

町並み保存活動や国際交流協会を核とした青少年海外派遣事業をはじめとして、町民の熱心な交流が続いた結果、内子町とローテンブルク市は 2001 年に友好都市盟約の締結、2011 年に姉妹都市盟約の締結に至りました。今年 2026 年には姉妹都市盟約締結 15 周年を迎えます。

CIR の活躍

ローテンブルク市との交流もあり、内子町では 1996 年よりドイツ出身の国際交流員 (CIR) を配置して交流を進めてきました。これまでに延べ 8 人の国際交流員が内子町で活躍し、町民と世界との交流の懸け橋となっています。

ローテンブルク市との姉妹都市交流で CIR が果たす役割は大きく、特に、1995 年から毎年実施している青少年海外派遣事業では、翻訳・通訳などの言語に関わる業務だけではなく、ローテンブルク市との日程調整や、



第 26 回青少年海外派遣団

事前研修でのドイツ語やドイツ文化の紹介、派遣時の子どもたちのサポートなどを行っています。

その他、町内の幼稚園や小学校への訪問、ドイツ語講座や「国際理解講座」の講師を務めています。また、姉妹都市交流記念事業として毎年 5 月に開催される「ドイツフェスタ」では、民族衣装のファッションショーやドイツのオクトーバーフェストで親しまれるダンスを紹介するなど、ドイツの文化を身近に感じる機会を提供しています。このような CIR の活動は町民の国際交流への意識を啓発するとともに、姉妹都市交流の促進につながっています。今年実施する姉妹都市盟約締結 15 周年記念事業でも事前の連絡調整や当日の運営など多方面で活躍してくれることを期待しています。

ALT の活躍

内子町には国際交流員だけでなく、現在 (2026 年



国際理解講座「カーニバルのヘッドピースづくり」

3月時点)、アメリカ合衆国、トリニダード・トバゴ共和国、南アフリカ共和国出身の5人の外国語指導助手(ALT)が在籍しています。彼らは、小中学校での仕事はもちろん、国際交流協会を拠点として町民対象の英会話教室の講師や世界の文化を体験できる「国際理解講座」の講師も務めています。工作などのワークショップや料理教室は大人気の講座です。

2025年に開催した内子町国際交流協会設立30周年記念事業「Uchiko World Festival ～内子で世界の文化体験～」では、ALTたちが中心となり、各ブースで出身国の文化を来場者に楽しんでもらうワークショップを行いました。

他にも、ポスターの制作やSNSを活用したイベントの案内など彼らの持つ知識や経験を大いに発揮し、事業を盛り上げました。



Uchiko World FestivalでワークショップをするALT



保存会の一員として獅子舞を披露するALT

また、彼らは日本や内子町のことをより深く知ろうと地域の行事や文化活動にも参加しています。特に伝統芸能では、和太鼓や獅子舞、伊予万歳（正月や祭礼の際に演じられる伝統的な民踊）のグループに所属するなど、積極的に町民と交流しています。彼らの活動を通して町民が改めて地域の文化の良さに気づくこともあり、彼らが教えてくれることは外国の言語や文化だけにとどまらず、国際交流の本質や伝統文化継承の意義など多岐にわたり、町民の地域への愛着の醸成にも繋がっています。

おわりに

内子町の国際交流は姉妹都市交流だけではなく、国際交流協会を中心に町民の異文化理解や多様な国際交流の機会の提供、在住外国人を対象とした日本語教室の運営サポートや交流イベントなど多岐にわたります。

内子町に着任したCIRやALTの多くが「内子町に着任して良かった」「もっと内子町で働きたい」と感じ、契約を更新し、帰国後も何度も内子町を訪れるのは、町民の温かさ、これまでの国際交流活動の取り組みの成果だと感じています。

近年、町内の在住外国人の数も少しずつ増加しています。誰もが安心して、共に心豊かに暮らせる町を目指して、CIRとALTがその懸け橋となってくれるよう一層の活躍に期待しています。